

放出



城東区制80周年、おめでとうございます。

放出社会福祉協議会は、昭和50年4月に放出小学校の新設に伴い設立され、本年度で設立47周年を迎えることができました。

放出地域は、近年高層マンションや戸建て住宅の建設により、人口も増加傾向の中、活発な活動を通して住民間の「絆」を大事にしていまいりました。

具体的には、「盆踊り」「体育祭」を中心とした事業に加え、敬老会・グラウンドゴルフ大会や二十歳のつどい・子育てサロン・ふれあい喫茶など老若男女が楽しめる事業を行っています。

近年ではコロナ感染防止対策を行いながら、「献血活動」や「健康麻雀」「スポーツ体験会」などの新しい事業を展開し、好評を得ています。

また「防災・減災計画」を早急に見直し、地域の防災意識を高めて、公助・自助・共助の円滑な連携を図りたいと考えています。

これからの放出地域は、若い人材の発掘や参加型の事業を企画・運営しながら、「放出に住んで良かった」と言われるようなまちづくりをめざしていまいります。



鯉江



鯉江地域は、昔はたくさんの工場が建っていましたが、今は多くが住宅地となり、飲食店や小売店など商業施設も多数営業されています。最近新しい店舗を見ることが多くなりました。

地域活動についても、10年前の平成25年に地域活動協議会の認定を受け、組織を再編するとともに、町会長をはじめとした地域役員についても徐々に世代交代が進み、若返りが図られています。

鯉江地域の最大イベント「鯉江ふれあいまつり」は23年前の2001年に第1回を開催し毎年盛大に開催を続けてきました。最近の2年間は新型コロナの拡大で開催ができなくなり、2022年は今年こそはと着々と準備を進めてきましたが、残念ながら3年連続で開催に至りませんでした。

毎年、どこにこれだけの人がいたんだろうというくらい多くの人たちに参加いただいていたので、2023年は、これまでどおりとはいかないまでも、with コロナの考え方で開催にこぎつけたいと考えています。



鯉江東



城東区制80周年、誠におめでとうございます。鯉江東地域は城東区の一番東に位置し、交通の便、買い物の便の良さからここ近年高層マンションや新築戸建て住宅建設により、若い世代のファミリー層が増えたこともあり、ますます活気溢れる地域に変化しつつある中、安心安全な街づくりに取り組んでいます。なかでも“地域の子どもは、地域で守る”の想いから、登下校の「子ども見守り活動」は、18年目を迎えます。「鯉江東防災計画書」「防災マップ」の見直しも行い、防災意識を高め、地域の防災力の強化に努めています。また、SDGsの取り組みとして各町会の古紙、古着等回収に加え、今年度よりペットボトル回収も始めました。そして鯉江東の一番の特色は、鯉江東フェスティバル「躍動」です。老若男女が共有できる“ふるさと愛”の意識を高める「夏祭り」、「運動会」の2大イベントを柱に、3年に渡るコロナ禍で、感染対策をしっかりしながら開催できた、小学校校舎を利用したプロジェクションマッピングや鯉江東地域を再発見するフォトコンテストによる我が街カレンダー、ウォークラリーやスカイランタン祭りなど新しい行事も生まれ、人間性豊かなコミュニティと人材発掘育成の機会になっています。今後も地域の皆さんが、「住んで良かったと思える街」の実現をめざして活動を進めていきたいと思います。



関目



区制80周年おめでとうございます。10年を振り返って、前半は計画通りに行事ができましたが、後半はコロナの影響で準備はしたが中止になった件数が多くなりました。新しい行事として東京2020パラリンピックの競技でおなじみになったポッチャの指導をしてくださる方がいたので、地域でできるようになりました。男性のみカフェ「男力カフェ」を開催し、定年退職後の男性や引き籠りがちな男性に参加してもらうよう「将棋・麻雀・囲碁」等で遊びながら参加できるカフェ開催。室内で密にならない様に月2回に分けて開催しています。中止が多くなると、やる気が薄れると言う人が多くなってきました。コロナに負けないそんな体制で今後行事を再開していきたいと思います。

